

特定非営利活動法人
日本スパ・ウェルネス協会

美容施設における 新型コロナウイルス 感染拡大防止対策 ガイドライン



日本スパ・ウェルネス協会会員 サロン様・企業様・認定校様

新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、
政府より「緊急事態宣言」が発表されました。

解除された後も、「新たな生活様式」をベースに
各個人・企業・施設による拡大防止対策の実施や
第二波・第三波への警戒が求められています。

本資料では、日本エステティック機構ならびに
日本エステティック振興協議会より発表された
ガイドラインをもとに、サロン経営者様向けの
感染拡大防止対応策ガイドラインを作成しました。

会員の皆様におかれましても
改めて次頁からの対策徹底をお願いいたします。

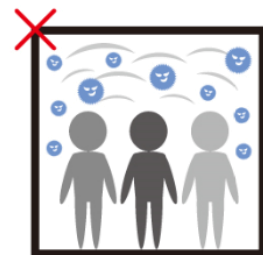
お客様への対応

お客様への来店時の注意事項や体調チェックを、ホームページや SNS、店頭掲示などで呼びかけ、徹底を求めています。

特に体調チェックは、下記事項に当てはまる場合はご来店・施術を控えるようにしましょう。

【体調チェックリスト】

- 風邪の諸症状が出ている
- 高熱が出ている
- 強いだるさや倦怠感がある
- 味覚障害・嗅覚障害がある
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要と発表されている国や地域への渡航歴がある
- 過去 14 日以内に新型コロナウイルス感染症のクラスター(集団感染)が発生したとされる場所を訪れた
- 同居家族や知人に感染が疑われる方がいる
- その他新型コロナウイルスに感染した可能性のある症状が出ている
- 1週間くらいまでにインフルエンザやノロウイルスなどにかかっていた



1. 感染症関連のキャンセル対応

予約をいただいているが、感染症関連の理由により来店ができなお客様や、来店をお控えいただくようにご案内したお客様に対しては、キャンセル料の緩和や無償化及び役務提供期間の延長などにより、お客様の不利益にならないよう、柔軟な対応をお願いします。



2. サロンの対策周知

スタッフのマスク着用などの感染予防策、営業時間の変更、一部の技術提供中止や内容変更など、お客様に影響の出る事項は全て掲示やホームページ、SNS等で事前に周知しましょう。



3. お客様から感染者が出た際の対処

感染者が出た際、他のお客様へ連絡する方法を予め確認しておきましょう。連絡の範囲や内容等については、保健所や行政機関の指示に従うことも周知が必要です。合わせて、個人情報の取り扱いについても慎重に対処し、使用範囲等きちんと明示してください。

店舗営業に関する対応

営業店舗における衛生管理は、店舗内を清潔に保ち、感染の発生を防ぐことを目的としています。
今は通常以上の徹底を図る衛生管理を行うことが必要です。

1. 店舗内衛生・感染拡大防止策の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、特に以下の事項は徹底しましょう。

- ◇店舗内にウイルスを紛れ込ませないことが重要であり、その対策を徹底する。
- ◇店舗における手洗い・手指消毒を徹底し、お客様が触れる箇所については、徹底した消毒を行うこと。
また、使用する薬品類は所定の場所に保管し、その取り扱いには十分注意する。希釈して使用するものはその都度調合し、作り置きや使いまわしはしない。



2. 店舗内でできる対策

- ① 入り口では手指消毒液の設置と消毒の徹底を促す。



- ② 来店時はマスク着用を促す。



- ③ 来店時に検温を実施。
発熱がある場合は施術を控える。



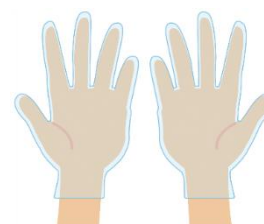
- ④ 待合室では、席の間隔を空ける。



- ⑤ ドアなどお客様が触れそうな個所は、こまめに消毒を行う。



- ⑥ 技術や清掃時は使い捨てグローブを使う。使いまわしはしない。



- ⑦ お手洗いでは、ハンドドライヤーは使用しない。ごみ箱は蓋つきを用意。



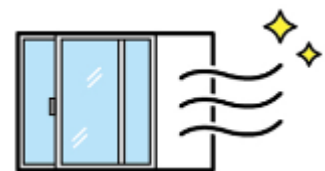
- ⑧ 従業員は常時マスク着用を徹底。カウンセリング時はアクリル板、技術時にはフェイスガードなどを併用する。お客様へも可能な限りマスクの着用を促す。



- ⑨ カップやグラスを使用する場合は特に洗浄・消毒を徹底する。もしくは使い捨てカップを使用する。



- ⑩ 換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運転・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を実施する。



- ⑪ レジ対応前後には必ず手指消毒を行い、現金の受け渡しはトレーを使用する。
また、キャッシュレス決済を活用する。



- ⑫ 化粧品などのテスターは撤去する。



- ⑬ 店舗や施術室に入れる人数を制限し、人の密集を避ける。
また、営業時間を短縮するなどし、できるだけ人の集まらない工夫をする。



- ⑭ タブレットやタッチパネルを使用した場合は都度消毒を行うようにする。



- ⑮ スタッフの健康管理を徹底し、有事の際には報告しやすい環境を整える。



ここにあげた対策例は
ほんの一部のです。

サロンでできる対策
ひとりひとりができる対策
ご協力いただく対策

新型コロナウイルス感染拡大防止で
できることは沢山あります。

小さなことでも自分にできることを
取り入れていきましょう。

